

島根大学教育学部紀要総目録 (第11巻～第20巻)

教育科学篇

第 11 巻 (昭和52年12月)

- 望 田 研 吾 イギリスの中等教育における伝統と変動
——総合制中等学校理念の據頭——
- 今 谷 順 重・安 部 登・安 立 良・曾 田 満 子
中学校公民的分野「人間社会と家族」の授業 (I)
——内容構成の原理と学習指導案の作成——
- 今 谷 順 重・安 部 登・安 立 良・曾 田 満 子
中学校公民的分野「人間社会と家族」の授業 (II)
——授業の具体的展開とその検討——
- 三 野 栄 治 数学教育における記号表現の問題 (IV) ——包摂関係とその表記——
- 井 藤 芳 喜・首 藤 恵 利・柘 植 喜 代 子
モデルを利用した熟教材の学習とその効果
- 川 原 寄 人 小学校理科の教材と指導法に関する研究
——「物の浮き沈み」を中心として——
- 小 寺 茂 明 現在完了形についての一考察 ——その本質的意味と効果的な指導法——
- 盛 政 貞 人 技術科の種々の評価法と、その適用例
- 太 田 昌 子・永 田 七 恵
男女平等に関する大学生の意識とその形成要因
——今後の家庭科教育への示唆として——
- 團 琢 磨 地方都市におけるスポーツの変化
- 藤 岡 正 春 柔道の基礎的研究 II
- 石 田 秀 孝・井 藤 芳 喜
効率の良い教育用閉回路テレビシステム

第 12 巻 (昭和53年12月)

- 田 中 瑩 一 香西松聲著「和文階梯」(翻刻と解説)
——明治15年に松江中学校で使用された和文教科書——
- 望 田 研 吾 イギリスの中等教育改革に関する政党の政策
——戦後の総合制再編成における労働党と保守党——
- 小 寺 茂 明 現在進行形についての一考察
——その本質的意味と効果的な指導法——
- 伊 藤 俊 彦 高校における離散確率分布の指導について
- 井 藤 芳 喜・佐 藤 嘉 一
モデルを利用した電気教材の学習とその効果
- 石 野 眞 パウル・クレーの造形思考 I
- 團 琢 磨 わが国におけるスポーツ発展の社会的特性
- 盛 政 貞 人 技術科教育の学習過程

- 猪野 郁子 集団保育に関する研究（Ⅰ）——保母の意識について——
太田 昌子・赤山 光恵
 教具のちがいが学習効果に及ぼす影響について
 ——中学校技術・家庭科住居領域の場合——
- 西 信高・田中 栄一
 隠岐の障害児教育に関する研究（Ⅰ）

第 13 卷 （昭和54年12月）

- 伊藤 俊彦 Thurstone 型尺度, Likert 型尺度, 「きらい—好き」の7点尺度
 による小学校教員志望学生の算数に対する態度について
- 深田 博己・小池 源吾
 子どもの発達と学校外教育（Ⅱ）
- 太田 昌子・安井 芳子
 主婦の被服製作に関する実態と意識
- 盛政 貞人 教材・教具の使用と学習効果との関係
 ——情報の受容型学習（あるいは、認知）の優勢傾向——
- 西 信高 障害児の幼稚園教育に関する調査研究
- 西 信高・田中 栄一
 隠岐の障害児教育に関する研究（Ⅱ）
- 野津 良夫 フランダース授業分析法とTRR
- 織奥 信男 島根県における中学校運動部の現状
- 藤岡 正春 嘉納治五郎杯国際柔道大会のゲーム分析
- 川原 寄人 西ドイツにおける初等理科教育の展開

第 14 卷 （昭和55年12月）

- 今谷 順重 EDC 社会科高校用コース「人間的本性の探究」の内容構成
- 喜多村 望・沢田 孝二
 学校保健計画に関する研究
- 太田 昌子・木村 泉・久我 俊子・岩崎 真理
 ミシン操作のグループ学習効果について
- 盛政 貞人 学習の体系
- 深田 博己・深田 成子
 幼児のグルーピング概念の発達
 ——第1選好概念と概念利用能力の関係に関する探索的研究——
- 深田 博己・利島 保・中邑 賢龍
 両親の家庭内リーダーシップと幼児の行動特性の関係
- 山下 政俊・黒田 耕司
 子どもの認識発達と教授学的指導との相互関係
- 永見 浩二 教育的指導の考察

第 15 卷 （昭和56年12月）

- 大谷 和寿・久保田 康毅
 ランニングタイムにかかわる体力要素の分析

- 中山正吉 我が国のスポーツに関する財政政策（1）
 太田昌子・萬代恭子
 調理実習における適正グループ人数についての実験的研究
- 西信高・高橋憲二・内田紀充
 ちえおくれの成人の発達に関する研究
- 深田博己・深田成子・木船憲幸
 分類概念の選好性に関する発達の研究
 ——精神薄弱児におけるCA水準と概念選好性との関係——
- 望田研吾 19世紀におけるパブリック・スクールの発展
 ——エリート養成学校としての確立——

第 16 卷 （昭和57年12月）

- 伊藤俊彦 分数教育の歴史的変遷
- 中山正吉 我が国のスポーツに関する財政政策（2）
 伊藤豊彦・島田正大
 スポーツに対する原因帰属に関する研究
- 斎藤重徳・大谷和寿
 砲丸投の学習における一研究
- 太田昌子・桑田智恵・久我俊子
 被服製作におけるグループ学習の効果について
- 小寺茂明 レディング大学でのサマーコース
- 西信高 障害の早期診断と発達の原動力について
- 西信高・高橋憲二・内田紀光
 発達と労働の相互連関について
- 深田博己 無関連恐怖喚起状況下での説得研究における問題点

第 17 卷 （昭和58年12月）

- 大淀昇一 近代日本のテクノクラシー運動と教育
 ——教育社会学の社会的基盤としての「技術の制度化」研究——
- 高岡信也 プロイセンにおける初等教員資格制度の成立について
- 鍛冶拓美 学生の授業行動の形成に関する訓練システム
- 西信高 教科教授の客観的系統性と発生的認識論
- 西信高・原 宏
 知的遅滞児における体育科教材と認識発達の関係について
- 深田博己 心理的反発に関する発達の研究
- 森本直人 合衆国における市民的資質改革の方向性（I）
- 伊藤俊彦 小学算術書（明治6年）における文章題の考察
- 知念辰朗 器楽奏法における手動作の適性についての意義
- 碓井エイ 学校舞踊の創作に関する諸問題 V
- 太田昌子・持田聡子
 家庭科の男女共修に関する中学生母親の意識

第 18 卷 (昭和59年12月)

- 森本直人 社会科における「環境・資源」教育（I）
——「資源・エネルギー」学習の場合——
- 有馬毅一郎・森本直人・間田浩彬
社会科における「環境・資源」教育の実験的研究（I）
——中学校公民的分野のエネルギー教育の場合——
- 中野祐子 新教育思想と舞踊教育
——玉川学園，小原國芳の論と実践を中心として——
- 大谷和寿・植野淳一
運動場面における足の一側優位性について
- 斎藤重徳 島根県中学校の砲丸投選手に関する研究（2）
——砲丸投技術の実態について——
- 多々納道子・大島麻里
中学校技術・家庭科の被服領域における学習指導に関する調査研究
——島根県の場合——
- 太田昌子・渡部圭子
婦人の社会活動に関する意識調査
- 西信高 性教育の構造化と障害児教育
- 西信高・渡部真理子・加本和子
運動能力と認識発達の関係を中心とした保育カリキュラムの研究
- 深田博己 恐怖喚起コミュニケーションの説得効果に及ぼす話題，媒体，被験者
および測定基準の影響 ——従来の研究の分析——

第 19 卷 (昭和60年12月)

- 伊藤俊彦 算数・数学学習におけるやる気に関する研究（I）
——数学テスト不安，数学的課題困難度および数学的課題選好の関係——
- 大久保佐知子 自由ヴァルドルフ学校の音楽教育
——低学年の教育方法理論を中心に——
- 渡辺悦男 幼児の投動作の発達に関するモルフォロギー的研究
- 藤岡正春 柔道の基礎的研究 IV
- 大谷和寿・植野淳一
四肢の一側優位性についての研究 ——主として運動場面に関して——
- 斎藤重徳・渡辺悦男・大谷和寿・伊藤豊彦・植野淳一
砲丸投の学習指導に関する研究 ——砲丸投の動作分析——
- 伊藤豊彦・豊田一成・杉原隆
スポーツにおける原因帰属様式の年令的变化について
- 大國博昭 改訂教育課程における製図教育の実態 ——立体図形の作図能力——
- 大國博昭・福島誠
図学教育における投影図形認知のためのコンピュータの利用法
- 西信高・花田史朗・斉藤礼子
重度知的遅滞者における基礎的生活習慣の形成と認知・適応能力の発達
- 深田博己 恐怖喚起コミュニケーション研究の展望

- 小野 擴 男 教科課程と科学 ——西ドイツの教科課程論を手がかりとして——
 山下 政 俊・木 村 進
 授業実践と教授学研究の課題（Ⅰ）
- 野 本 晃 史・岩 佐 武 彦
 イギリスの地図教育に関する若干の考察 ——日本との対比的視点から——
- 有 馬 毅 一 郎・森 本 直 人・山 崎 浩 二・錦 織 馨・伊 藤 博 敏・赤 木 直 行
 社会科における「環境資源」教育の実験的研究（Ⅱ）
 ——「食糧」・「エネルギー」教材の場合——
- 大 淀 昇 一 「技術の制度化」過程における教育の社会的課題
 高 岡 信 也 ドイツ教員社会史研究（一）
 ——初等教員層形成期に関する社会階層的考察——

第 20 卷 （昭和61年12月）

- 山 下 政 俊 授業指導と授業評価に関する教授学的研究（Ⅰ）
 有 馬 毅 一 郎・森 本 直 人・伊 藤 博 敏・木 村 進・山 崎 裕 二
 社会化における「環境・資源」教育の実験的研究（Ⅲ）
 ——「水」教材の場合——
- 伊 藤 俊 彦 算数・数学学習におけるやる気に関する研究（Ⅱ）
 ——数学学習における達成動機づけと数学的問題解決
 のパフォーマンスの関係について——
- 伊 藤 俊 彦・岡 本 信 之・柳 楽 茂 彦
 島根式算数・数学の学習意欲検査（Shimane-AMTM）の開発（Ⅰ）
 ——数学に対する自己概念，数学における達成動機，数学学習不安，
 数学不安，数学的問題解決に対する態度の5つの測定用具について——
- 鶴 岡 義 彦 小学校低学年理科設置の論拠づけに関する事例の分析
 ——「低学年理科特設運動」の初期における成城小学校の場合——
- 知 念 辰 朗 指揮演奏に関する基礎的研究 Ⅰ
 弦楽器演奏からのアプローチ
- 久 納 慶 一 音楽教育学の体系化について
 大久保 佐知子 ヴァルドルフ音楽教育の基底をなすもの
 ——「人間における音の体験」をめぐる——
- 藤 岡 正 春 柔道の基礎的研究 Ⅴ
 中 野 祐 子 日本体育会・赤間雅彦の舞踊教育
 ——大正・昭和前期において——
- 斎 藤 重 徳・渡 辺 悦 男・大 谷 和 寿・伊 藤 豊 彦・植 野 淳 一
 砲丸投の学習指導に関する研究
 ——スタンディングからの投げについて——
- 太 田 昌 子・藤 原 八 千 代
 中学生の親子関係におけるテレビ視聴の影響について
- 大 国 博 昭・中 島 康 博
 主体的に取り組む「製作」学習の追求
 ——男女共修による「金属加工」学習を通して——
- 西 信 高 障害児学校の教育課程への「あそび」の系統的導入について
 深 田 博 己 恐怖喚起コミュニケーション研究における方法論的問題
 大 淀 昇 一 情報化社会における「学力」についての一考察

島根大学教育学部紀要総目録 (第11巻～第20巻)

自然科学篇

第 11 巻 (昭和52年12月)

- 築山 耕三 ねじれ主ファイブレーションの自己
ホモトピー同値の群について
- 酒見 次郎 ロッシェル塩結晶のX線トポグラフによる研究
- 曾我部 国久 ホウ素化合物のNMR研究
- 瀬戸 武司 ヒナバタ精母細胞染色体におけるクロモミア分析
- 大谷 和寿・久保田 康毅
1500m 走と体重・身長・PWC₁₇₀ の関係についての研究

第 12 巻 (昭和53年12月)

- 仲丸 信行 バリオニウム状態の超微細質量分離について
- 野坂 弥蔵・永川 精一
カテナリー炉内の帯鋼の横振動
- 瀬戸 武司 イモリ腹水細胞の電子顕微鏡的研究
とくにラッセル氏体細胞の構造について

第 13 巻 (昭和54年12月)

- 秦野 薫 差集合のハウスドルフ次元についての注意
- 酒見 次郎 ロッシェル塩結晶のX線トポグラフによる研究II
- 瀬戸 武司 培養体細胞の分裂前期における核膜崩壊
——位相差顕微鏡による観察——
- 大谷 和寿・久保田 康毅・檜谷 卓夫
持久走記録を制限する因子についての研究

第 14 巻 (昭和55年12月)

- 曾我部 国久・河野 通史・加藤 英子
アミンボラン化合物の立体相互作用について
- 瀬戸 武司 本邦産イモリの核型と構成的異質染色質の局在パターンについて
- 大谷 和寿・久保田 康毅
砲丸投記録と筋力の関係についての研究
- 福間 彰・駅田 省吾
教材用基本的計算機の試作
- 野坂 弥蔵・林 隆一
3トン エヤ ハンマの防振基礎の振動
- 大國 博昭 ころがりすべり接触における摩耗の基礎的研究(1)

第 15 卷 (昭和56年12月)

- 高橋成和 学生・生徒実験において回折格子を手作りする簡単な方法の開発
曾我部国久 フェニルナイトロキサイドラジカルの ESR スペクトル
瀬戸武司 有尾両生類染色体の動原体部位の形態
久保田康毅 走幅跳と50m走の関係についての研究
野村律夫 日本産現世底生有孔虫のリストの著書目録

第 16 卷 (昭和57年12月)

- 高橋成和 電磁作用に関する生徒実験用磁石
曾我部国久 N-メチル, N-ニトロソ, P-トルエンスルホンアミド
中に生成するナイトロキサイドラジカルの ESR スペクトル
瀬戸武司 Hynobius 属サンショウウオ 2種の核型分析
野村律夫 日本産現世底生有孔虫のリストの著書目録 (II)

第 17 卷 (昭和58年12月)

- 高橋成和 格子に規則的な欠落がある回折格子による回折像
斎藤重徳 島根県中学校の砲丸投選手に関する研究
斎藤重徳・大谷和寿
砲丸投の学習における一研究 (第2報)
藤岡正春 柔道の基礎的研究 III
野坂弥蔵 主成分分析による入試成績の順位づけシミュレーション

第 18 卷 (昭和59年12月)

- 曾我部国久 ニトロソナフトールとニトロソフェノール中に生成した
イミノキシラジカルの ESR スペクトル
坂本一光 イオンと溶媒の相互作用に関する研究
野村律夫 韓国, 済州島からのカシドゥリニッド科有孔虫についてのノート
高橋成和 螢光燈の照度を測定する学生実験 ——逆2乗則をめぐる——
福岡彰 簡易な楽音分析表示装置の試作
福島誠 情報処理教育のためのコマンドプロシジャについて

第 19 卷 (昭和60年12月)

- 秋山優 南極に於ける淡水藻類の生物地理的分布と Oedogonium の出現につて
三浦清 昭和58年7月石見豪雨による斜面崩壊の特性
神志那良雄 ハロゲン化アルカリ中の Sn^{2+} 中心のスペクトルに及ぼす陽イオン
空位の影響 I. 非緩和励起状態
高橋成和・古川明信
摘み上げて離れたゴムひもの振動
錦織禎徳・藤井明・磯部美津子
洗浄による絹繊維の劣化 ——湿润時の耐折性——

第 20 卷 (昭和61年12月)

- 福田 悌二郎 ある種の需要予測と供給に関する一考察
- 神志 那良雄 ハロゲン化アルカリ中の Sn^{2+} 中心のスペクトルに及ぼす
陽イオン空位の影響 II 計算機シミュレーション
- 坂本 一光 イオンと溶媒の相互作用に関する研究 II
単独イオンの溶媒間移行自由エネルギー
- 坂本 一光・岡崎 敏
イオンと溶媒の相互作用に関する研究 III
アセチルアセトン中における銀およびナトリウムイオンと
他溶媒との錯生成反応に関するノート
- 瀬戸 武司・森山 信子・石部 知行
染色体分染法によるバンドの再現性と染色体標本の保存条件
- 三浦 清 黒曜石小考
——島根県下の縄文遺跡から出土する黒曜石の原産地推定法をめぐって——
- 野村 律夫 島根半島千酌地域の泥質岩の層序について
- 高橋 成和 ゴムひもの横振動
——2点を摘み上げて離す場合——

島根大学教育学部紀要総目録 (第11巻～第20巻)

人文・社会科学篇

第 11 巻 (昭和52年12月)

- 浅野 裕 一 堅白石 ——公孫龍に於ける対象認識の様相——
山田 政 美 現代英語の人称代名詞
水野 信 男 コプト音楽の性格 ——その宗教歌にみる——
山本 真 一 教育保障とその経済的基礎

第 12 巻 (昭和53年12月)

- 浅野 裕 一 白馬と馬の間 ——『公孫龍子』白馬論の意味——
高山 草 二 語認知の諸問題 ——出現頻度効果と意味的文脈効果——
堤 雅 雄 青年期の自我の構造
——レインの相互人格論をとおして——
三原 重 行 声楽発声に関する二・三の考察
山本 真 一 生活循環における社会保障
山本 真 一・角 登志子
施設養護における諸問題について
稲浪 正 充・西 信高・小椋たみ子・堤 雅雄・大西俊江・引野友子
学校恐怖症の心理と対策
小椋たみ子 幼児の構音における代置の誤りと、その改善過程の分析

第 13 巻 (昭和54年12月)

- 浅野 裕 一 十三篇『孫子』の成立事情
鯨 岡 峻 おとなから見た子ども
山田 政 美 アメリカ英語の語法調査
高山 草 二 非計量的な多次元尺度構成法に関する検討
小椋たみ子・井原千歳
ハンディキャップをもった子どもの身体イメージの特性
——肢体不自由児，病弱児，聴覚障害児の人物画と樹木画を通して——

第 14 巻 (昭和55年12月)

- 浅野 裕 一 道家思想の起源と系譜 (上)
——黄老道の成立を中心として——
銭本 健 二 W. B. イェイツ論 (I) ——記憶の詩法
田中 瑩 一 北京における子供の伝承遊び
多々納道子 学生服に対する教師の態度
山田 政 美 口語英語における省略の文法

- 小 椋 た み 子 精神薄弱児の行動特性とタッピング作業についての一分析
小 椋 た み 子・西 信 高・稲 浪 正 充
障害児をもつ母親の心的ストレスに関する研究（Ⅱ）

第 15 卷（昭和56年12月）

- 北 恭 昭 国立国会図書館蔵 百舌往來の和訓
田 中 瑩 一 宮澤賢治の「花鳥童話」諸作品に見られる主題の構造と展開
浅 野 裕 一 道家思想の起源と系譜（下） ——黄老道の成立を中心として——
鯨 岡 峻 おとなから見た子ども（Ⅱ）
斎 藤 重 徳 三段跳の学習における一研究
山 本 真 一 明治初期の家計補助的女子賃金
山 田 政 美 英語の間投詞の語法
稲 浪 正 充・西 信 高・小 椋 た み 子・大 西 俊 江
英語圏における障害児の親をめぐる今日の問題——その文献的展望
堤 雅 雄 青年期における自己対象化と存在論的危機
高 山 草 二 漢字の語彙判断に関する検討

第 16 卷（昭和57年12月）

- 浅 野 裕 一 道法を生ず ——道法思想の展開——
中 川 政 樹 クローチェの史的唯物論解釈
華 園 聰 麿 カントの道徳的宗教について
山 本 真 一 ライフサイクルにおける女子賃金〔Ⅰ〕
山 田 政 美 アメリカ英語のカレッジ・スラング
稲 浪 正 充・藤 田 正 一・内 田 祥 治
島根県の小学校精神薄弱児特殊学級の実態について
小 椋 た み 子・大 西 俊 江
一吃音児の遊戯治療過程の研究
大 西 俊 江・小 椋 た み 子
一吃音児の母親面接過程の研究
鯨 岡 峻 母子関係の諸相（Ⅰ）
高 山 草 二 読みにおける意味的文脈効果
——カテゴリー・事例関係による一検討——

第 17 卷（昭和58年12月）

- 浅 野 裕 一 秦帝国の法治主義 ——皇帝と法術——
銭 本 健 二 W. B. イェイツ論（Ⅱ） ——仮面の詩法（ⅰ）
堤 雅 雄 羞恥論への予備的考察
稲 浪 正 充・楠 仁 子・小 椋 た み 子
養護学校児童と適応行動尺度
野 本 晃 史・大 矢 幸 雄
地方都市における大規模小売店舗（大型店）の成立と都市構造の変容
山 本 真 一 ライフサイクルにおける女子賃金（Ⅱ）

- 山田 政美 ののしり語 (epithets) の文法
 吉名 重美 鍵盤楽器における変奏技法の展開についての一考察
 島 畑 齊 『ソナタアルバム』に関する一考察

第 18 卷 (昭和59年12月)

- 中川 政樹 ウローチェのマルクス主義批判
 銭本 健二 W. B. イェイツ論 (Ⅲ) ——仮面の詩法 (ii)
 浅野 裕一 秦の皇帝観と漢の皇帝観 ——「秦漢帝国論」批判——
 呉 羽 長 『源氏物語』『閑屋』巻の空蟬の造型をめぐる小考
 高山 草二 読書時間の諸成分と文脈効果
 ——個人差を通しての予備的分析
 山田 政美 現代アメリカ英語の人称代名詞
 三原 重行 声楽発声に関する二、三の考察、第2
 小椋 たみ子 初期言語発達と認知発達の関係

第 19 卷 (昭和60年12月)

- 中山 正吉 スポーツの構造 ——その制度的側面——
 猪野 郁子・荊尾千恵子
 性役割について (I)
 小椋 たみ子 初期言語発達に関する研究 ——原言語から言語へ——
 稲浪 正充・高山 草二・小椋 たみ子・西 信高・大西 俊江・楠 仁子
 障害児を養育する親のストレスの比較文化的研究
 山本 俊麿 順社会行動：「いじめ」への援助に関する心理学的研究
 鯨岡 峻 発達臨床心理学の諸問題 (その1)
 高山 草二 クラスタ分析による読書過程の研究
 堤 雅雄 見ること見られること ——異性の接近事態における一実験——
 山田 政美・田中 芳文
 アメリカ英語におけるインヴィテーション表現の様態
 天野 宏英 現観荘嚴論釈の梵文写本 (2)
 浅野 裕一 帛書「五行篇」の思想史的位置 ——儒家による天への接近——
 呉 羽 長 川端康成「浮舟」論
 銭本 健二 W. B. イェイツ論 (Ⅳ) ——神話の詩法 (i) ——

第 20 卷 (昭和61年12月)

- 堤 雅雄 はずかしがりやであること
 ——青年期の自我の一樣想として——
 高山 草二 作業記憶と読書過程
 大西 俊江 心身症児 (慢性尋麻疹) の母親に対する並行母親面接に関する一考察
 鯨岡 峻 発達臨床心理学の諸問題 (その2)
 山田 政美・田中 芳文
 アメリカ英語における謝罪の表現
 野本 晃史 第二次大戦後における山陰の観光現象とその変化

- 天野宏英 現観莊嚴論釈の梵文写本(3)
- 山本真一 女子労働者と男女雇用機会均等法
- 猪野郁子・荆尾千恵子
性役割について(II) ——両親の認知
- 小椋たみ子 縦断観察による初期言語発達と認知発達の関係
- 稲波正充・小椋たみ子・西 信高・大西俊江・高山草二
健常児の親の養育態度：われわれのQRS簡便型による調査
- 三保忠夫 「雲州往来」享禄本語彙表(上)
- 呉羽 長 後鳥羽院在隠岐詠歌伝説の構造
- 浅野裕一 普遍者たち ——「公孫龍子」通変論の立場——
- 銭本健二 W. B. イェイツ論(V) ——神話の詩学(ii) ——
- 中川政樹 クローチェにおける政治と道徳